

八潮市振興計画 審議会委員の募集

市では、平成21年度から27年度までを計画期間とする「第4次八潮市総合計画後期基本計画」を策定します。

この計画は、市の将来の振興・発展を展望し、今後7年間に市が取り組むべき施策を明らかにする市政運営の指針として策定していくものです。

計画の策定に当たっては、各分野の有識者を含めた25人によって構成する市の附属機関「八潮市振興計画審議会」において審議しますが、審議委員のうち4人を市民の皆さんから公募します。

対平成19年4月1日現在、市内に1年以上居住している20歳以上の方で、平日（夜間を含む）に開催する会議に出席できる方。ただし、市議会議員および市職員は除く。

定4人

費市の規程により報酬を支給します。

回3月～10月 ※会議の進捗状況により延長する場合があります。

因市が諮問する総合計画の原案について審議をし、市に答申をします。

用住所・氏名・生年月日・性別・電話番号を記入のうえ、「八潮市のまちづくり」と題し、まちづくりに対する考え方をまとめた小論文（様式自由で800字程度）を、2月15日までに郵送、ファックス、Eメールで生涯学習まちづくり推進課（☎A 885、Eメール machizukuri@city.yashio.lg.jp）へ



市川俊之さん（二丁目）

埼玉農林業賞受賞 地産地消で 八潮を盛り立てます

店先には花畑のように山東菜が並び、焼き芋の良い香りが漂う「八潮市ふれあい農産物直売所」。店内に入ると、小松菜や大根、そのほか季節の採りたて野菜がずらりと並んでいます。

その直売所の設立から指導的な役割を担ってきた市川俊之さんが、知識・技術を活用し、地域農業の担い手として活躍されていることが評価され、平成19年11月10日、「第29回埼玉農林業賞」を受賞されました。

市川さんは、平成3年に地産地消を目指し市内15カ所で立ち上がった無人販売所の設置に参加。平成5年には直売所連絡協議会の発足と共に会長となり、週2日の朝市を開始し、より安定した販売環境を求め平成13年に常設の直売所を設立しました。

そして、消費者の利便性を考え、平成18年、現在の場所に直売所を増設しました。

直売所では、こまちゃん工房の漬物、森のこかげの手作りパンなどが置かれ、店頭で賑わいを見せています。

市川さんは、「これからは若手に引き継ぐので、八潮を地産地消で一層盛り立てていって欲しいですね。私はアドバイザーとして農家の皆さんに協力していくと同時に、安心・安全野菜を供給できるよう、野菜の認証の取得を目指していきたいです。」と笑顔で話してくれました。

※地産地消…地域生産地域消費の略語で、地域で生産された農産物をその地域で消費すること。

笑顔

キラリ輝く、この街。この人。

行ってみたい ななりまち



5枚、ラッピング付き
☎電話で草加市伝統産業展示室
931・1970へ

越谷市

花フェスタ
1月19日(土) 午前10時～午後3時
場新越谷駅1階コンコース
市内で生産されたチューリップ・フリージア・バラなどの切り花とシクラメン・ペゴニアなどの鉢物を直売（品物がなくなり次第終了します）
☎越谷市農政課 963・9193

三郷市

三郷市文化協会
3月8日(土)・9日(日) 午前10時～午後5時
三郷市文化会館
8日(日)カラオケ、9日(日)吟詠・民謡

吉川市

第13回吉川なまの里マラソンの開催
満開の桜や田園風景を楽しみながら、吉川を走ってみませんか？豪華賞品が当たる抽選会もあります！ゴール地点では、名物料理「なまの里」も販売しています。
4月6日(日)
☎市民交流センターおあしす

松伏町

ニューイヤールコンサート2008
ウィーン・リング・アンサンブル
1月12日(土) 午後7時開演（6時30分開場）
場田園ホール・エローラ（北越谷駅東口からエローラ行きバスで「中央公民館前」下車）
☎出演ウィーン・リング・アンサンブル、曲目「ホルカ」「狩り」、天体の音楽、オペレッタ「メリーウィドウ」から ほか
費（全席指定）S席4500円、A席3500円、高校生まで2000円
場田園ホール・エローラ ☎992・1001

文芸欄

吳美代選

■広聴広報課 ☎A423

山茶花

伊草 中山 靖子

今年も玄関わきに山茶花が咲いた
触れると染まりそうな紅色だ
仕事に出かける息子の肩にも
小学校へ登校する孫の肩にも
そして散歩に出かける息子の背にも
山茶花の花びらが舞っている
日々山茶花の紅色に感じ入ったり
励まされたりしてきた
「よっしゃ」
今日も一呼吸して私は走り出す

俳句

大曽根 小倉 義孝

護摩堂に和す心経や初詣

鶴ヶ曾根 小金丸美智子
里神楽祖父の笛の音聞き分けし

冬ざれや謝罪のニュースまたもあり
大曽根 藤郷千代子

霧深く汽笛の音して小樽の灯
八潮六 菅澤 博

降り立つと秩父夜祭り遠花火
八潮二 近藤 寛一

雲ひとつなき秋空に筑波山
八潮七 小倉 孝義

音合わせ秩父夜祭り近くなり
大曽根 横山 英道

今年また夫婦で祝えし屠蘇の膳
木曽根 古根 昌明

灯に浮ぶ紅葉の六義園
中央一 斎藤 富吉

散りゆくも一期一会の枯葉かな
八 條 杉村 知香

木枯らしに軒のすだれや干し大根
大曽根 根岸佐代子

異国語の会話背に聞く初詣
大曽根 白方美代子

散歩道日々色づきし落葉かな
八潮五 小林 光

あらたなる年もこの道ベタル踏み
勤まるようにと星に祈りつ
八潮七 狩野 敏

雨上がり雲一つない秋空の
朝日の中を鳩の群れ飛ぶ
南後谷 杉村 セツ

枯葉落ち樹々の小枝は寒々と
春を待ちつつ空見上げたり
南川崎 松谷 永子

公園の水面に浮かぶクイの上
夕日を浴びし鴨たち並ぶ

短歌

木曽根 高谷 多門

これからも続けていこうイベント短歌
駄作なれども老後の楽しみ
中央一 鈴木 宏子

窓をあけ秋の夜空を見上げれば
眩しく照らす満月の夜
中央一 猪瀬 利助

夕映えの富士を見上げる散歩道
窓より眺めし昔なつかし
南川崎 伊本 則子

亡き母の真似しほうとう炊いてみる
こんな味でしょうかお母さん
八 條 種村 幸子

大掃除コーヒの香に誘われて
しばし休みて孫と語らん
浮塚 土屋美智子

よく来たと孫に頼寄せ老夫婦
互いにはしゃぐ帰省のとき
伊草 斉藤 富子

